

生理生態学実習

(亜寒帯魚類を対象とした増養殖実習) 実施要項

1. 授業科目

特別実習Ⅰ 1単位（北海道大学水産学部の単位）

但し、単位は、所属する大学が認めたときにのみ修得となる。また、この単位を修得した学生が、他の実習を重複して受けた場合には、本単位を修得することはできない。

また、公私立大学の学生が上記単位を修得するには、あらかじめ学部間での単位互換に関する協定の締結が必要となる。（詳細については、北方生物圏フィールド科学センター学術協力担当宛てに問い合わせること。（12.参照））

2. 実施場所

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 七飯淡水実験所
〒041-1105 北海道亀田郡七飯町桜町 2-9-1

TEL：0138-65-2344 FAX：0138-65-2239

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 白尻水産実験所
〒041-1613 北海道函館市白尻町 152

TEL：0138-25-3237 FAX：0138-25-5088

宿泊場所は、白尻水産実験所を利用する。

3. 実施期間

令和7年3月4日（火）～令和7年3月7日（金）

3月4日（火）09:20 JR 新函館北斗駅北口集合

3月7日（金）16:00 JR 函館駅または函館空港にて解散

（受講者の移動便の時間を考慮します）

4. 対象

国立大学（北海道大学を除く）、または公私立大学に在籍する学部2～4年次の者を対象とする。定員に空きがある場合は1年生および大学院生も受講可能とするが、単位認定はできないので留意すること。

5. 実習内容

本実習では北海道の代表的な水産魚種であるサケマス類の人工授精を行い、養殖による生物生産や放流による増殖について学ぶ。また、生体へのホルモン投与を体験し、ホルモンが生殖・形態・行動に及ぼす影響を観察することで、その生理学・生態学・行動学的背景について理解を深める。(指導教員：萩原聖士)

- ① ホルモン投与実験 (生殖・形態・行動への作用)
- ② サケマス類の採卵, 採精, 人工授精
- ③ 魚類の性判別
- ④ 食の実学 (出荷処理体験、熟成刺身と新鮮刺身の実食、排卵卵イクラ作り)
- ⑤ 水産海洋実践ネットワーク 連携プログラム (予定)

※各施設間の移動は、すべて教職員が運転するレンタカー等で行います。実習中は、自家用車での移動は認められません。

6. 定員

本実習の定員を6名とする。書類選考により採否を決定し、採否については12月末日までにメールにて個別に通知する。

7. 提出書類その他

- (ア) 特別聴講学生願書
- (イ) 学生証のコピー
- (ウ) 受講希望理由書 (前後泊の希望を必ず記入すること)
- (エ) 学生教育研究災害傷害保険 (学研災) および学研災付帯賠償責任保険 (付帯賠償) への加入を証明するもの (領収書・証明書等)

書類(ア)(ウ)および本要項は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター食糧基地拠点ホームページ (拠点 HP) よりダウンロード可。

URL : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/suisan-kyoten/index.html>

※書類の提出が遅れる、または紛失等で再確認が必要な場合は申し出ること。

提出書類(エ)の保険では、本実習中における新型コロナウイルス感染症をはじめとする疾病感染時の治療および入院等の滞在にかかる費用は補償されない。

補償を受けるには (エ) の保険加入者が「学研災付帯学生生活総合保険」に加入する必要がある。なお、加入は任意である。

詳細は拠点 HP のトップページ右側「公開水産科学実習における感染対策」を参照のこと。

8. 申込期限：令和6年12月13日(金) 必着

9. 申込先

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 事務部学術協力担当
〒060-0811 北海道札幌市北区北 11 条西 10 丁目
TEL : 011-706-3452

※1 必ず所属大学の教務関係担当事務を通して申し込むこと。

※2 郵送により提出する場合、封筒表に「公開水産科学実習参加申込書類在中」と朱書きすること。

10. 参加費

宿泊費（臼尻水産実験所 2 泊）と食費（4 日昼食～7 日昼食）合計 10,000 円程度。3 泊 4 日の実習期間のうち最初の 2 泊 3 日（3 月 4-6 日）は臼尻水産実験所に宿泊する（参加費に含まれる）。最後の 1 泊は函館市内のホテル泊（3 月 6-7 日、予約手配は北大側が行う）とし、宿泊費は実習生が負担する。
実習地までの往復交通費や、前泊・後泊など実習期間外の宿泊費は実習生が負担する。なお、授業料の徴収はしない。

11. 交通機関について

近年の交通機関および宿泊施設の価格上昇に伴う参加学生の金銭的負担を考慮して、以下の対応を行う。

【実習受講者に対する内々定通知】

早めに旅程を考えられるよう、募集終了日（12 月 13 日）～12 月 24 日の間に、受講内々定者に向けて通知を行う。

【前後泊ホテルの仮押さえ】

本年度は試験的に、前後泊用のホテル 1 泊分（3,000 円～5,000 円程度）を予め仮予約している。実習が迫ってから予約しようとする、同じホテルでも 1 泊 20,000 円以上に値上がりすることもあるため、前後泊を希望する受講生には利用を強く推奨する。受講希望理由書の「前後泊の希望」欄に記載すること。

12. 問い合わせ先

【申込に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 事務部学術協力担当
〒060-0811 札幌市北区北 11 条西 10 丁目
TEL : 011-706-3452

【実習内容に関する問い合わせ】

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター七飯淡水実験所
〒041-1105 北海道亀田郡七飯町桜町 2-9-1

TEL : 0138-65-2344 Mail : shagihara@fsc.hokudai.ac.jp（担当教員：萩原聖士）

13. 参考

七飯淡水実験所 HP : <https://www.fsc.hokudai.ac.jp/nanae/home.html>

臼尻水産実験所 HP : <https://www.hokudai.ac.jp/fsc/usujiri/usujiri.html>

14. その他

詳細な日程, 実習内容, 交通案内, 諸注意などに関しては, 採択通知後に受講決定者にメールにて通知する。

なお、今後実習内容の変更等があった場合は随時, 食糧基地拠点 HP および応募者へのメールにて周知する。